

中学生向け男女共同参画啓発ツール

～男女がトモ（共）に活躍！！～
トモ活ライフキャリアすごろくゲーム

活用資料

目 次

1	目的	・・・ 1
2	「ライフキャリア（生涯経歴）」とは	・・・ 1
3	男女共同参画の現状について	・・・ 1
4	中学校における活用	・・・ 2
5	必要なもの	・・・ 2
6	各ツールの使い方	・・・ 3
7	ペアワークのイメージ	・・・ 4
8	進行例	・・・ 4

1 目的

誰もが活躍できる社会を築くためには、男性も女性も、すべての個人が互いに人権を尊重し、その個性と能力を十分発揮できる男女共同参画社会を実現する必要があります。

県では、性別にとらわれることなく、すべての人が個性と能力を発揮できる社会の実現を目指し、「男女がトモ（共）に活躍する」という意味の「トモ活」をキーワードとして、男女がともに意識をチェンジ(Change)し、あらゆる分野にチャレンジ(Challenge)するとともに、活躍するチャンス(Chance)を広げるための取組みを進めています。

その取組みの一つとして、次代を担う若い世代が性別にとらわれることなく、主体的に進路や職業を選択する能力を身に付け、さらに未来を展望して自分らしい生き方や働き方を考える機会を提供することを目的に、中学生向け男女共同参画啓発ツール「～男女がトモ（共）に活躍！！～トモ活ライフキャリアすごろくゲーム」を作成しました。

2 「ライフキャリア（生涯経歴）」とは

「ライフキャリア（生涯経歴）」とは、仕事に限らずに、人生における家庭生活や職業生活を総合的に見てとらえた、その人の経歴（キャリア）のことをいいます。

「キャリア」ときくと、職業や仕事に関する狭義の経歴のことをイメージしがちですが、「ライフキャリア（生涯経歴）」には、職業や仕事だけではなく、家庭や地域との関わり、趣味などの日常生活や社会活動における多様な役割や経験の積み重ねも含まれます。

これからの人生を、性別にとらわれず自分らしく生きるためには、「なりたい自分」を想定し、「ライフキャリア（生涯経歴）」を考えることが大切です。

<参考>

人が、生涯の中で様々な役割を果たす過程で、自らの役割の価値や自分と役割との関係を見いだしていく連なりや積み重ねが、「キャリア」の意味するところである。

【出典】中央教育審議会「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について（答申）」（平成23年1月31日）

3 男女共同参画の現状について

「男女共同参画に関する県民意識調査」では、現在の日本の「社会全体」における男女の地位が「平等である」と回答した人の割合は、わずか11.6%^{*1}でした。

その一方で、「学校教育の場」における男女の地位が「平等である」と回答した人は45.8%となり、家庭、職場、政治といった各分野と比較して、最も高い割合になっています。

また、県内の公立学校に占める教頭以上の女性管理職の割合は全国で最も高い40.3%^{*2}となっています。このことから、職場としての学校は比較的性別にとらわれずに、人材の育成・登用が進む職場であるといえます。

しかし、県内企業や役所等における管理職に占める女性の割合は、14.3%^{*3}となっており、この割合は増加傾向にあるものの、依然として低い水準にとどまっています。

日本全体としても同様の傾向がみられ、企業の役員や管理職等への女性の登用は十分ではなく、国際的にみても大きく遅れているといえます。（役員に占める女性の割合：諸外国 約30～45%、日本 約10%^{*4}）

さらに、県民意識調査において、女性が働き続ける上での障害を尋ねたところ、「家事・育児・介護などにおける家庭内の相互の協力が十分ではないこと」(64.7%)が最も多く、次に多かったのは、「結婚や出産の際退職しなければならない慣行が今でも残っていること」(38.8%)でした。^{※1}

こうしたことから、引き続き、職場だけでなく家庭・地域など様々な分野での男女共同参画の実現に向けた取組みを推進する必要があります。

また、県内の子どもがいる共働き世帯における家事・育児の時間を夫婦で比較したところ、妻のほうが圧倒的に長く、家事・育児は妻に偏っています。逆に見ると、家事・育児を妻と協働して行わないからこそ、夫は長時間仕事に専念しているといえます。(夫：家事関連時間 38 分－仕事等時間 7 時間 56 分、妻：家事関連時間 4 時間 35 分－仕事等時間 5 時間 29 分^{※5})

本教材を活用いただく際には、家族や先生、周りの大人の話（性別にとらわれないキャリア形成や、家事・育児・介護などの分担と協働に関することなど）を聞くと、より一層理解が深まると考えます。

- 【出典】※1 石川県「男女共同参画に関する県民意識調査」令和2年度
※2 文部科学省「令和3年度公立学校教職員の人事行政状況調査」
※3 総務省統計局「令和2年国勢調査」
※4 内閣府男女共同参画局「女性役員情報サイト」<https://www.gender.go.jp/policy/mieruka/company/yakuin.html>
※5 総務省統計局「令和3年社会生活基本調査結果」

4 中学校における活用

中学校学習指導要領（平成29年告示）に記載されている以下の授業等で活用できます。

- ・総合的な学習の時間（職場体験活動の導入や振り返り）
- ・特別活動「一人一人のキャリア形成と自己実現」
- ・技術・家庭（家庭分野）「家族・家庭生活」

また、ワークシートは「キャリア・パスポート」を補完する資料として活用できます。

5 必要なもの

(1) 学校で準備するもの

- ① すぐろくシート（A3、2～3人に1部）※カラー印刷推奨、タブレット等で表示し使用可能
- ② ワークシート（A4、1人に1部）※授業内容に合わせて、変更可能
- ③ 補足情報（A4、1人に1部）

各ツールのダウンロードはこちら <https://www.pref.ishikawa.lg.jp/danjo/life-career.html>

(2) 生徒が準備するもの

- ① すぐろくのコマになるもの（消しゴム、鉛筆のキャップなど小さめのもの）
- ② 筆記用具

6 各ツールの使い方

すごろくは、自分の将来を想像しながら行うことを想定して作成していますが、結婚や出産等に関して、生徒の心情等に配慮する必要がある場合は、この限りではありません。

ワークシートについても、適宜、加工して使ってください。

①すごろくシート

- ・中学時代からの主なライフイベントを、ゲームを楽しみながら考えます。
- ・「スタート」(右上)に記載のとおり、2人1組でじゃんけんをしてコマを進めます。

勝ち：2つ進む 負け：1つ進む あいこ：やり直し

特別なマスの説明

POINT①進路／②就職／③結婚／④子育て／⑤介護 (◇の箇所)

- ・生活が大きく変わる大切なライフイベントなので、全員必ず止まります。
- ・マスに書かれている選択肢から選びます。
 - ※ 「POINT⑤介護」は吹き出しに書かれている選択肢から選びます。
 - ※ 選んだ選択肢は、ワークシートの「STEP 1」にメモします。
 - ※ 生徒が補足情報を先に読んでから、選ぶこともできます。

仕事⑥／独身② (1回休みのマークがある箇所)

- ・1回休みます。休みのときも、ペアのじゃんけんには付き合います。

独身③

- ・このマスに止まった場合は、結婚するかをもう一度考えます。
「結婚する」を選ぶ人は「POINT③結婚」へ、「結婚しない」を選ぶ人は、「独身④」へ進みます。

子育て①／家庭③／POINT⑤介護 (吹き出し ■■ がある箇所)

- ・これらのマスを通るときは、吹き出しの選択肢から選びます。
 - ※ コマの進行方向には、影響はありません。ただし、「POINT⑤介護」は必ず止まるマスであるため、全員が止まり、吹き出しの選択肢からいずれかを選び、次のマスに進みます。
 - ※ 生徒が補足情報(解説)を先に読んでから、選ぶこともできます。

②ワークシート

「STEP 1」 ・ゲーム中、◇の箇所(「POINT①～⑤」)と吹き出し ■■ がある箇所を選んだ選択肢を忘れないようにメモします。

「STEP 2」 ・ゲーム終了後、「STEP 1」でメモした選択肢を選んだ理由や気づいたことを記入します。

※ 「POINT③結婚」と「POINT④子育て」は2回止まることがあります。その場合、ワークシートの欄を増やして記入させるか、2回分を同じ欄に記入させるなどしてください。

「STEP 3」 ・「STEP 1」「STEP 2」の内容を、ペアで話し合い、気づいたことを記入します。

「STEP 4」 ・ゲームを終えて、気づいたことや、将来をイメージしてこれからやってみようと思ったことや考えたことなどを記入します。

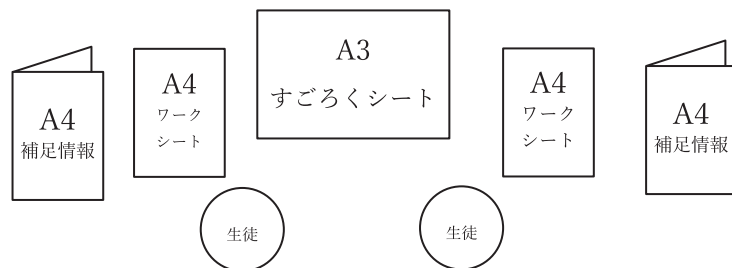
③補足情報

- ・各ライフイベントに関する補足データを記載しています。
- ・選択肢を選ぶときや選んだ理由を考えるときの参考としてください。

7 ペアワークのイメージ

- ・生徒が2人1組（奇数でペアを作れない場合は、3人1組）でペアとなり、ペアワークを中心として行います。

<例>配置図



(1) クラス単位で実施する場合

- ・隣の人と、机を合わせて実施します。

(2) 学年単位など大人数で実施する場合

- ・視聴覚室、体育館などで、2人1組にして床に座って実施します。
- ・下敷きがあると記入しやすいでしょう。

8 進行例

場面	時間	形式	内容
①導入・趣旨説明	5分	講義	・授業の目的の説明
②ライフキャリアの説明	5分	講義	・ライフキャリアについての説明
③ゲームの説明	5分	講義	・ゲームの進め方やルールの解説 ・ワークシートの記入について説明
④ゲーム ワークシート「STEP1」記入	20分	ペア ワーク	・ゲームの実施 ・POINTのマスで止まったときと吹き出しのあるマスを通ったときに選んだ選択肢をメモする
⑤選択理由の記入 ワークシート「STEP2」記入	5分	個人 ワーク	・選択肢を選んだ理由や気づいたことを記入する
⑥意見交換 ワークシート「STEP3」記入	5分	ペア ワーク	・ワークシートに記入した内容をペアで共有する (「POINT③結婚」、「POINT④子育て」、「家庭③吹き出し」 「【すごろくにはないけれど考えてみよう】」を除く) ・気づいたことを記入する
⑦振り返り ワークシート「STEP4」記入	5分	個人 ワーク	・授業を通して気づいたことや将来をイメージしてこれからやってみようと思ったことなどを記入する

各場面のポイント

場面ごとの進行例は次のとおりです。適宜アレンジして進めてください。

① 導入・趣旨の説明

- ・ゲームを楽しみながら、進学、就職、結婚、子育て、介護など、**将来のライフイベント（人生の節目となる出来事）を想像し、自分の将来をイメージするきっかけとすることを伝えてください。**

注)「子育て①吹き出し／③／④」における「家族」とは、第一義的には親である、自分とパートナーですが、それだけではなく、祖父母やきょうだいなど、他の家族のことも含みます。

② 「ライフキャリア（生涯経歴）」の説明

- ・以下の点を踏まえて「ライフキャリア（生涯経歴）」について説明してください。
 - 「ライフキャリア（生涯経歴）」とは、仕事に限らずに、人生における家庭生活や職業生活を総合的に見てとらえた、その人の経歴（キャリア）のこと
 - 職業や仕事だけではなく、家庭や地域との関わり、趣味などの日常生活や社会活動における多様な役割や経験の積み重ねも含むこと

③ ゲームの説明

- ・すごろくシートの左上に記載してあるルール説明をしてください。

④ ゲームの進み具合の調整

- ・先にゴールした生徒には、ペアのじゃんけんにつき合い、自分が通らなかったマスにどんなものがあつたのか、ペアの進んだマスと一緒に読むように促すなどしてください。
- ・早くゴールしたペアがいたら、ワークシートの記入に移るよう促してください。

⑤ 選択理由の記入

- ・選択肢を選ばない場合は、記入しなくて構いません。

⑥ 意見交換

- ・適宜、テーマを選び、ペアで意見交換を行うよう促してください。
- ・「POINT③結婚」、「POINT④子育て」、「家庭③吹き出し」、「【すごろくにはないけれど考えてみよう】」については、選択肢を選んだ理由や生徒個人の希望をペアの人などと共有しなくて構いません。

⑦ 振り返り

- ・先生から生徒の将来について伝えたいことを伝えてください。

<例>

- ゲームのように、これからの人生にはたくさんの選択肢があり、選んでいくことになります。
- その時に、「これでいいや」「これしかないや」と思わず、自分のやりたいこと、大切にしたいことをその都度考えて、「これがいい」と思う選択肢を自分から主体的に選んでいってください。
- もし「思っていたのとちょっと違った」というような出来事が起こっても、何が違ったのか学ぶことができ、それが次のステップへとつながります。
- こうした主体的な選択の積み重ねに「自分らしさ」が出てきます。今日、気づいたこと、やりたいと思ったことを大切に先に進む「行動」をとってください。

～男女がトモ（共）に活躍!!～トモ活ライフキャリアすごろくゲーム、ワークシート、
補足情報及び活用資料のデータは下記 URL よりダウンロードできます。

<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/danjo/life-career.html>

～男女がトモ（共）に活躍!!～トモ活ライフキャリアすごろくゲーム 活用資料

監 修 八重澤 美知子（金沢大学名誉教授・石川県男女共同参画審議会会長）

編 集 石川県・石川県教育委員会

発 行 石川県県民文化スポーツ部男女共同参画課

〒920-8580 石川県金沢市鞍月 1 - 1

TEL (076)225-1378 E-mail danjo@pref.ishikawa.lg.jp

令和 5 年 3 月